

実証の背景・目的

【背景・課題】

病院では、重量物を搬送する多くの業務があり、重量物の持ち上げ動作やカートを押す動作など、肩や腰への負担も大きく、けがにつながる恐れもあります。

【目的】

- ✓ 搬送業務の代替による**業務効率化**
- ✓ 身体負担の軽減による**労災リスクの低減**
- ✓ 搬送中の人同士の接触機会削減による**感染症対策**

実証の様子

薬剤カートを牽引し、自律搬送



安全のためライトを点灯

実証の概要



利用したロボット

【特徴】

- ✓ 治具を作成し、牽引または積載によって**自律搬送**

【運用方法】

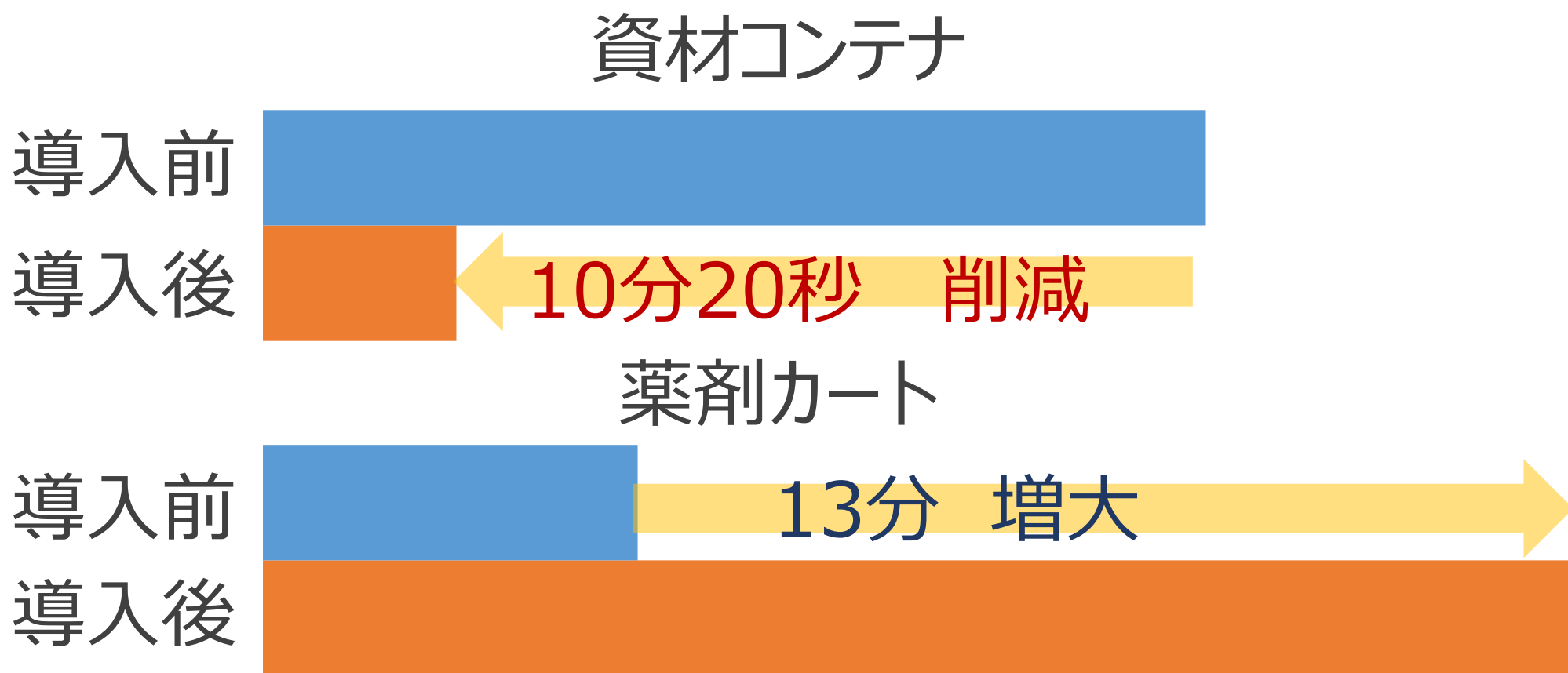
- ✓ 薬剤カートを牽引、資材コンテナを積載し、搬送

資材コンテナを積載し、自律搬送



ロボット導入効果

搬送に関わる移動時間のロボット導入前後比較



- ✓ 資材コンテナは一部区間の自動化を実現し、**10分20秒**の搬送業務時間を**削減**
- ✓ 薬剤カートは、搬送時の職員の**身体負担の軽減**を実現
※手動ドアの通過の必要性から半自動化となり、搬送時間は増大

まとめ

【実証の成果】

- ✓ **資材コンテナ搬送の自動化を実現**
資材コンテナの搬送を自動化し、大幅な業務効率化と負担軽減を実現
- ✓ **薬剤カート搬送で職員負担軽減を実現**
薬剤カート搬送の半自動化によって、職員の身体負担軽減を実現

【課題・解決策】

- ✓ **施設設備連携による更なる効率化の実現**
地下1階から目的階までのエレベータ搬送は、人が付き添う必要があったため、エレベータ連携など施設設備との連携によって更なる効率化が必要